

症例 25

●52歳 女

大動脈弁閉鎖不全症、甲状腺腫で経過観察中であったが、感冒罹患を契機にし、心不全症状をおこして来院。



- 1) このリズムは何か。
- 2) 治療はどうするか。

心電図診断

心房細動

QRS波と1対1に対応するP波がない。

RR間隔は不整であり、基線が細かくゆれている(f波)。

心拍数は約90/分。

解 説

心房細動では頻脈になると、前半部のように一見RR間隔が整にみえ、f波がわかりにくいうことがあるが、少し長く記録すると、後半部のようにRR間隔が不整になる部分がとらえられる。

治療はジギタリス剤、利尿剤などで心不全を軽減させることに努める。

⑤

心不全がない場合でも、頻脈型の心房細動に対しては、ジギタリス剤が心拍数を減少させて有効である。